

1 指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
2 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用 状況(40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率 (利用時間/日数 × 営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると 判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)は、自由来館としている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(13:00～14:00、17:00 ～18:00)を設けているため、17時閉館、13:00～14:00は児童センター利 用をご遠慮いただいている。 ・4/5～5/24 臨時休館 ・5/25～6/30 自由来館のみとし、全ての事業を中止。	-	
		(2)市事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると 判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未 満～ 95% 4 点	・4月～6月臨時休館及び事業中止の為来館者が減少。 ・緊急事態宣言等により、日々の来館だけでなく乳幼児・小学生各クラブに おいても、利用者が慎重になり参加者数に影響。 ・イベント等は感染対策をしつつ企画内容等工夫して実施し、定員を満た ず参加があった。 【2年度】来館者数 3,499人(乳幼児:1,181人、小学生:958人、中高生:72 人、大人:1,288人) 【元年度】来館者数 7,734人(乳幼児:2,261人、小学生:2,179人、中高生: 215人、大人:3,079人) 【30年度】来館者数 8,580人(乳幼児:2,596人、小学生:2,324人、中高 生:333人、大人:3,327人) 【29年度】来館者数 10,316人(乳幼児:2,694人、小学生:4,137人、中高 生:161人、大人:3,324人) 【28年度】来館者数 10,118人(乳幼児:2,629人、小学生:4,193人、中高 生:156人、大人:3,140人) ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点	
						新型コロナウイルス対応一律8点(令和2年度のみ)				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15 点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施 (軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施 (中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計30回開催、延べ363名参加) ・児童を対象とした事業(計36回開催、延べ217名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計2回開催、延べ120名参加) ・中高生事業(計0回開催、延べ0名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計43回開催、延べ300名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書 以上 13 点	・コロナで交流等が制限される中、保健センター等関係機関と連携、工夫 して事業を実施。 ・イベントは、人数制限や2部に分けて行う等、工夫して実施。 ・じどうかんまつりを内容を工夫して実施し、多くの参加者があった。 ・中高生ボランティア事業は未実施、評価から除外。	13点	
						・乳幼児と保護者を対象とした事業(計35回開催、延べ440名参加) ・児童を対象とした事業(計27回開催、延べ145名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計18回開催、延べ140名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ10名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計5回開催、延べ50名参加) ※別紙:事業評価表 参照		期待以 上 13点	・様々な地域イベントが中止となる中、乳幼児親子や小学生を対象に新し い事業を企画し実施。 ・コロナ禍での育児不安や保護者のストレスを緩和するため、様々な事業 を実施。	13点

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理 状況(25点)	(1)施設管理 業務 の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8 点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	屋内・トイレの清掃:毎日 備品の清掃:毎日 ガラス・照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			遊戯室窓枠(木製)の修理、座卓の修理、外灯 蛍光灯交換 (小さなものは消耗品費で部品を購入し、安全対策を行った) クレセント錠の取替え (1,580円) 10万円未満の為仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕	適正(普 通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路に面している2箇所に「飛び出し注意」看板を取り付け。 ブランコの柵に注意看板を取り付け。 館内にハザードマップを掲示。 気づいた時に随時「ヒヤリハット報告書」を作成し、職員間で周知している。	適正(普 通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理 業務 の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房 の設定温度を28度に設定、施設の南と東側にミスト設置、夏は高窓を開け風通しを良 くし、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせてエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関への連絡はメールを利用。 乳幼児クラブや児童の工作材料を、牛乳パックやトレイ、ペットボトル等を利用し、各家 庭でも実践できるよう保護者へ提案している。 寄付で頂いた絵本やおもちゃ等は安全性を確認し積極的に活用している。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			入り口や廊下に物を置かないようにし、スペースを確保。洋式トイレに幼児用便座を設 置、アルコール噴霧器は小さな子どもでも利用できるよう高さを調節した。 廊下の角やラックの突起に、衝突防止用のクッションを取り付けている。 玄関入口のドアは、安全に利用できるよう開閉速度を調節している。 児童館の場所が分かりづらいとの声を受け、事業で制作した工事用囲い看板を引き 取り道路から見やすい位置に設置した。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は 施錠保管のうえ管理している。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点 対象とする (事故なし及び事故等の 対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり: △1点)	11月に1件、小3女兒がブランコの周りにある柵にのぼり落下。左目の下を擦り出血。 事故を受け、柵に注意看板を設置するとともに、館庭の見守りも強化した。	事故な し・対応 に不備 なし 0 点	適切な対応が行われているとともに、速やかに報告がなされている。	0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	収入 10,281,200円 ÷ 支出 9,617,589円 ≒ 107%	105%以 上 5点	経営努力により経費削減をおこなった。	5点	

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	・入口の意見箱を作り直し、ビルの分かりやすい位置に設置。乳幼児クラブ終了時と行事開催後にアンケートを実施、積極的に感想・意見を聞く場を設けた。 ・アンケートで好評だった、講師を招いての運動あそびやペーヨーガを乳幼児クラブに継続して取り入れ、事業後アンケートで要望のあった遊びを新事業に反映。 ・校区にある小学校ではコロナによる遊びの制限が多く、また、夏休みが短縮されたため、楽しみがなくなったという子ども達の声を受け、ボードゲームを多数作成し遊びに取り入れたり、土日に参加できる活動的なチャレンジ企画を実施。 ・コロナ禍で遊びが制限されたり各種イベントの中止が相次ぐ中、季節を味わう行事に参加したいというニーズに応え、ハロウィンやクリスマス会、お正月遊び等の季節行事を実施。	期待以上 8点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・コロナ禍でのニーズを把握し家庭でのストレス発散するための事業として実施する等内容を工夫している。	8点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	特になし。	苦情なし・適正(普通) 4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・まなびパークの生涯学習コーディネーター事業を共催。公民館に変わる施設利用として実施。 ・毎月のおたよりは、子ども達と一緒に作成。タイトルや挿絵等子ども達が季節を考え描いたものを使用し、児童館事業における積極的な児童参画を推進。 ・地元関係団体に、おたよりやホームページを媒体に施設を周知し利用促進に努めるとともに、積極的にブログを活用し、活動紹介や事業案内等利用者に向け分かりやすく発信。 ・一斉清掃に積極的に参加し、地域の清掃活動を実施。花づくり運動助成事業にも積極的に取り組み、館庭の整備、美化に努めると共に、一緒に行いボランティア活動へと繋げた。 ・コロナによる様々な変更やそれに伴う職員の対応等を、館独自のマニュアルとして作成、職員間で周知徹底し、利用者への対応を統一、利用しやすい安定した運営ができた。 ・外出できず人との触れ合いが制限される中、育児に不安を抱える母親のサポートとして相談業務に力を入れた。おたよりや館内掲示だけでなく、日々の声掛けや寄り添う姿勢を大切にし、館の職員全員が相談し易い雰囲気づくりを意識した。 ・職員の資質向上①法人内『全国子ども・子育てケアPJ』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の研究交流を行っている。「全国子育てWEBミーティング」を毎月開催。10/19「子ども子育てケアPJ会議」2/13「地域子育てフォーラム」7/27・11/29「体験体感PJ全国会議」11/14～15「実践交流集会」2/27～28「全国事業推進会議」子育て分科会他、年間全国規模の研究交流会実施した。②「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。10/14「東海子育てPJ特別研修会」日本福祉大学伊藤修毅先生講義などエリアブロックにおいても研究交流会および経理研修を開催。令和2年度はすべてオンラインで実施した。③ワーカーズ児童館職員全員参加研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。(普通救命救急法・新型コロナ対策・次亜塩素酸水活用・密を避ける遊び・公共を担う仕事・熱中症予防健康管理・SDGs・児童館ガイドライン・リスクマネジメント・子どもの権利・ぎふ木育など専門性を高める研修)④その他…10/13館長研修会中部学院大学宮嶋淳先生・11/17東濃地区児童館職員等研修会【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・11/19ぎふ木育施設研修【主催:岐阜県恵みの森づくり推進課】	期待以上 14点	・公民館がない地域で、公民館に変わる施設としても事業を実施している。 ・コロナ禍で家庭で過ごす時間が多くなる中で、家でできる遊びと児童館だからこその遊びを織り交ぜて実施し、家庭支援に繋げている。	14点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					85点	
								全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・コロナ禍で関係機関と連携し、方法を工夫してじどうかんまつりをはじめとした事業を実施している。		極めて良好	